

2012（平成24）年度入学試験問題（後期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程  
小・中学校教科教育コース 社会科教育専修

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問題

次の文章は、長谷部恭男『法とは何か』（河出書房新社、二〇一一年、三一〜四一ページ抜粋）の一部です。これを読んで、以下の各設問に答えなさい。

設問Ⅰ 文章中の傍線部①について、「実践的理由」とは何か、「理論的理由」との違いがわかるように、説明しなさい（四〇〇字程度）。

設問Ⅱ 文章中の傍線部②について、国家が「自分は権威だ」という主張に理由があるのはどのような場合か、説明しなさい（四〇〇字程度）。

設問Ⅲ 文章中の傍線部③について、「人がどのような宗教を信ずるべきか」という問題に対して、著者の主張を踏まえたうえで、論じなさい（八〇〇字程度）。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

二〇一二年（平成二十四）年度入学試験問題（後期日程）

## 小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

小・中学校教科教育コース

社会科教育専修

### 出題の意図

この小論文の出題の意図は、将来教師として教育活動を行う際に不可欠な資質について評価するものである。すなわち、社会科学的な文章を読んで、その論理を把握し、著者の主張を読み取ったうえで、設問の趣旨をふまえて論述する構想力及び表現力について、問うものである。